



令和5年度

福又术

第47号

福島県スポーツ推進委員協議会

目 次

◇ 巻頭言 福島県スポーツ推進委員協議会 会長 松田 義	
◇ 挨拶 福島県文化スポーツ局スポーツ課 課長 穂本 哲哉	
1 令和5年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧	1
2 文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して	3
大玉村 佐原 孝男 福島市 沼澤 行晴	
3 (公社)全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して	4
川俣町 氏家 美代子 須賀川市 吉田 澄子	
白河市 佐久間 正己 下郷町 玉川 森男	
4 (公社)全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰を受賞して	
該当なし	
5 (公社)全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して	5
富岡町 鈴木 重利	
6 (公社)全国スポーツ推進委員連合感謝状表彰を受賞して	
該当者なし	
7 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して	5
川俣町 三宅 逸朗 伊達市 菅野 忠司	
本宮市 星 次男 郡山市 三本木 正光	
須賀川市 佐藤 久美子 古殿町 鈴木 博敏	
三春町 渡辺 昭好 白河市 眞壁 貢	
会津若松市 佐瀬 良一 北塩原町 大竹 文夫	
昭和村 栗城 三津夫 下郷町 小山 ひとみ	
相馬市 猪狩 浩孝 川内村 遠藤 和之	
いわき市 斉藤 祐二 中島村 吉田 成子	
8 スポーツ推進委員の役割	10
9 ふくしま広域スポーツセンター事業	12
10 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会	13
11 令和5年度東北地区スポーツ推進委員研修会	14
12 令和5年度福島県スポーツ推進委員研究大会	15
13 第32回福島県女性スポーツ推進委員研修会	16
14 令和5年度福島県新任スポーツ推進委員研修会	17
15 全国研究協議会・東北地区研修会・県研究大会開催予定地一覧	18
16 分科会・シンポジウム担当割当表(県・東北)	18
17 令和5年度福島県スポーツ推進委員協議会役員名簿	19
18 令和5年度市町村スポーツ推進委員代表者・担当者一覧	20
19 各種表彰受賞者一覧	21
20 福島県スポーツ推進委員協議会規約	25
21 表彰規程	28
福島県スポーツ推進委員協議会表彰規程	
東北地区スポーツ推進委員協議会表彰規程	



巻 頭 言

福島県スポーツ推進委員協議会
会 長 松 田 義

スポーツ推進委員の皆様には、日頃より地域住民の健康と体力の保持増進、そして生涯スポーツの普及振興に御尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

令和5年度は、喜多方市で開催された福島県スポーツ推進委員研究大会を始めとした県協議会の諸行事を滞りなく開催することができ、スポーツ推進委員の皆様をはじめ、関係の皆様方に改めて御礼申し上げます。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され、全国各地でスポーツ活動が盛んに開催されるようになりましたが、いまだ予断を許さない状況にあります。スポーツ推進委員の皆様には、感染に留意しつつ地域スポーツ活動の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。

昨年は、春から侍ジャパンのWBCでの世界一というすばらしいニュースに多くの日本国民が感動と勇気を貰い、スポーツの持つ力を改めて認識しました。また、今年は、パリオリンピック・パラリンピックが開催される年であり、日本代表選手の活躍が新たな感動を与えてくれることを楽しみにしています。

今、世間では、物価高騰の波が家庭生活に影響を与えております。特に車社会でのガソリン価格の値上げは、普段の生活に打撃を与えました。このような状況にあっても、スポーツ推進委員は、地域の方々の健康の保持と体力の向上のために職務を推し進めなければなりません。その為に、一人一人が質の高いスポーツ推進委員を目指して、研修会や研究大会へ積極的に参加し、常に自己研鑽に励んで頂ければと思います。

令和6年度の福島県スポーツ推進委員研究大会は、白河市で開催されます。是非とも一人でも多くのスポーツ推進委員の方々に参加いただき、課題の共有を図りながら、資質の向上につなげることができる大会にしたいと考えております。また、地域スポーツの新たな課題となっている、部活動の地域連携・地域移行について、我々スポーツ推進委員の役割は、まだ明確ではありませんが、スポーツ推進委員は、地域スポーツのコーディネーターとして、幅広い分野での活動を期待されています。日々、努力と資質の向上に努め、地域に根差した活躍を期待しています。

最後に「福スポ」発行にあたり御協力いただきました、スポーツ推進委員の皆様、編集に携わっていただいた方々に御礼申し上げますとともに、県内スポーツ推進委員、関係各位の皆様方の御健勝をお祈りし巻頭の言葉といたします。



挨

拶

福島県文化スポーツ局スポーツ課
課 長 穂 本 哲 哉

スポーツ推進委員の皆様には、日頃から、各地域においてスポーツ活動の推進役となり、本県生涯スポーツの普及・振興に御尽力いただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

令和5年度は、スポーツ界において本県選手の活躍が目立ちました。バドミントンアジアジュニア選手権大会2023では、女子ダブルスで山北奈緒選手・須藤海妃選手のペアが優勝、レスリングU17世界選手権大会では、女子40kg級で阿久津こはる選手が優勝を果たすなど、世界の舞台で活躍しました。

また、鹿児島県で開催された特別国民体育大会では、陸上競技・ウエイトリフティング競技・自転車競技・弓道競技における優勝を始め、多くの競技種目で入賞するなど、本県選手の活躍は、県民にたくさんの勇気と感動を届けてくれました。

県では、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障がい者スポーツ」「オリンピック・パラリンピックのレガシー」の4つの柱で構成された、福島県スポーツ推進基本計画をもとに「楽しむ」「競う」「ともに」「つなぐ」という視点でスポーツに親しみながら、地域で心身ともに健やかに暮らすことができる「スポーツふくしま」の実現を目指しております。

スポーツ推進委員の皆様には、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等の地域スポーツ団体との連携・協働を促進し、今後も地域スポーツ推進の重要な担い手として、それぞれの立場でお力を発揮していただきますようお願いいたします。

結びに、福島県スポーツ推進委員協議会の御発展と皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

令和5年度スポーツ推進委員功労者等表彰受賞者一覧

スポーツ推進委員功労者文部科学大臣表彰被表彰者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	安 達	大 玉 村	佐 原 孝 男	2	福 島	福 島 市	沼 澤 行 晴

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合功労者被表彰者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	福 島	川 俣 町	氏 家 美代子	3	西 白 河	白 河 市	佐久間 正 己
2	岩 瀬	須 賀 川 市	吉 田 澄 子	4	南 会 津	下 郷 町	玉 川 森 男

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体被表彰団体

No.	支 部 名	市 町 村 名	団 体 名
1			該 当 な し

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合30年勤続被表彰者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	双 葉	富 岡 町	鈴 木 重 利				

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合感謝状表彰受賞者

No.	支 部 名	市 町 村 名	団 体 名
1			該 当 な し

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者被表彰者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	福 島	川 俣 町	三 宅 逸 朗	9	北 会 津	会津若松市	佐 瀬 良 一
2	伊 達	伊 達 市	菅 野 忠 司	10	耶 麻	北 塩 原 町	大 竹 文 夫
3	安 達	本 宮 市	星 次 男	11	両 沼	昭 和 村	栗 城 三 津 夫
4	郡 山	郡 山 市	三 本 木 正 光	12	南 会 津	下 郷 町	小 山 ひ と み
5	岩 瀬	須 賀 川 市	佐 藤 久 美 子	13	相 馬	相 馬 市	猪 狩 浩 孝
6	石 川	古 殿 町	鈴 木 博 敏	14	双 葉	川 内 村	遠 藤 和 之
7	田 村	三 春 町	渡 辺 昭 好	15	い わ き	い わ き 市	斉 藤 祐 二
8	西 白 河	白 河 市	眞 壁 貢	16	西 白 河	中 島 村	吉 田 成 子

福島県スポーツ推進委員協議会功労者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	福 島	川 俣 町	佐 藤 文 子	21	耶 麻	喜 多 方 市	安 部 幸 枝
2			廣 野 義 孝	22			眞 壁 健 治
3	伊 達	伊 達 市	橘 真 吾	23			田 代 浩 聖
4			渡 辺 裕 之	24			渡 部 大 助
5	安 達	本 宮 市	梅 津 芳 正	25			石 山 啓 之
6			佐 藤 健 一	26	両 沼	湯 川 村	佐 野 智 宏
7	郡 山	郡 山 市	熊 田 光 宏	27		会津美里町	小 池 常 夫
8			高 橋 基	28		柳 津 町	菊 地 慶
9			若 林 功 一	29	南 会 津	只 見 町	藤 田 暁 嗣
10			渋谷 明 弘	30		檜 枝 岐 村	星 満
11	石 川	石 川 町	関 根 政 彦	31	相 馬	相 馬 市	森 幸 子
12	田 村	田 村 市	先 崎 智 之	32		新 地 町	門 馬 巧
13			君 島 悟	33	双 葉	富 岡 町	栗 西 鈴 香
14			管 野 透	34		浪 江 町	松 本 信 吾
15		三 春 町	近 内 正 一	35	い わ き	い わ き 市	中 野 豊 子
16			過 足 奈 美	36			奥 田 和 子
17	西 白 河	西 郷 村	岡 部 満 美	37			松 本 祥 英
18			橋 本 豊	38			大河内 朝 則
19	西 白 河	西 郷 村	渡 辺 秀 幸	39			渥 見 伝
20	北 会 津	猪 苗 代 町	鈴 木 茂 喜	40			小 野 綾 子
				41			若 林 美代子

福島県スポーツ推進委員協議会感謝状被贈呈者

No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名	No.	支 部 名	市 町 村 名	氏 名
1	県 南	泉 崎 村	大 塚 恭 一				

文部科学大臣スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して



文部科学大臣功労者表彰を受賞して

大玉村 佐 原 孝 男

この度、青森県青森市において開催された、第64回全国スポーツ推進委員研究協議会において、文部科学大臣功労者表彰を受賞することが出来ましたことは、私にとりまして身に余る光栄であり、大変に恐縮の至りでございます。これもひとえに、共に研鑽を重ねてきた同僚スポーツ委員の皆様をはじめ、関係各位の皆様のご協力とご尽力のお陰

であり、心より感謝を申し上げます。

地元の剣道団体である大玉剣友会の一員として剣道の道を歩み続け、昭和57年に体育指導委員の委嘱から、41年の委員としての活動を行いながら、剣道競技の普及や指導、スポーツ少年団指導者として子ども達への指導、また、大玉村のスポーツ行事の運営に携わることにより、幅広い年代の多くの方々とスポーツの楽しさ、時には厳しさを、一緒に共有、経験できたことは私の宝であり、私のこれまでの成長の一助となっております。

今後は、コロナの影響により、各種スポーツ大会の中止や感染症対策への準備などの手探りでの対応から、コロナ禍で縮小した活動を、コロナ禍以前への活動に戻すために、今後とも皆様と協力し、生涯スポーツの推進、健康長寿の推進のお手伝いを微力ではありますが一緒に行っていきたいと思っております。

最後になりますが、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力をお願い申し上げ、受賞の御礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。



文部科学大臣表彰を受賞して

福島市 沼 澤 行 晴

この度、第64回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会において、文部科学大臣表彰を受賞しました。昨年は全国連合功労者表彰を頂きました。30年未満で県の役員未経験者としては、大変驚きました。続けて受賞できたことは、身に余る光栄であります。これもひとえに、福島市、福島市スポーツ推進委員会、関係者の皆様のご支援、ご協力の

賜物と深く感謝申し上げます。また、今日まで活動できたのは、家族の支援、特に妻には感謝しています。

さて、第3期スポーツ基本計画の中に、「スポーツ界におけるDX促進」があり、DX導入により様々なスポーツに関する知見や機会を住民に広く提供し、「する」「みる」「ささえる」スポーツの実効性を高めることを政策目標としています。情報技術を活用することにより、想像もつかない無限の可能性があるかもしれません。

予防医学の観点で特に認知症予防には、eスポーツは役に立つと思います。視覚障がい者でもアクセシビリティを利用した、格闘ゲームで勝利しています。また、高齢者等用に、コントローラーの工夫が進められています。企業によっては、ゆるゲームを開発しています。今後に期待したいと思っております。ごみ拾いをスポーツと考えている方もいます。スポーツ環境は、大きく変化しています。多くの方々がスポーツに関わり、楽しめることは何より、大切なことだと思っております。

りんごの種類は多く（みる楽しみ）、実を味わう（する楽しみ）、蜜はより実の中に浸透させる（ささえる楽しみ）、三位一体を願って。

皆様に感謝し、御礼の言葉といたします。ありがとうございました。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞して



スポーツの力に感謝
全国功労賞を受賞して

川俣町 氏 家 美代子

令和5度全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会「スポーツで煌めく笑顔のために」～青い森から縄文の風に乗って全国へ～にて、全国スポーツ推進委員功労者表彰を受賞いたしました。

長年にわたりスポーツ推進委員として指導頂きました諸先輩、スポーツ推進委員の仲間、地域の皆様、関係各位

のご協力、ご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

平成9年4月に川俣町体育指導員として委嘱を受け、スポーツの実技指導、スポーツに関する指導助言する立場として、平成23年からは法律の規定からスポーツ推進のための事業の実施に係る連絡、調整の役割、任務となるスポーツ推進委員になり、制度変遷時を過ごしてきました。

スポーツの位置付けも現在は地域のコミュニティの活性化の方法として、人とのつながりがあって、また、「人」とのつながりをもつ機会をつくる手段として、地域住民の健康推進として、「する」、「みる」、「ささえる」、スポーツを通じた地域づくりに、スポーツの持つ力を最大限活用できるスポーツの推進委員の魅力を功労賞受賞によりあらためて、認識しました。

スポーツ推進委員、最高にステキです。今後も全力でスポーツ推進委員としての経験を生かし、スポーツで地域を元気に笑顔で活動し、コーディネーターとしての役割を遂行して地域スポーツの充実を図り、生涯スポーツの振興に寄与してまいります。また、後進の指導にも努めていく所存です。

スポーツで煌めく笑顔のため新たなスタートです。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、受賞の挨拶とさせていただきます。



全国スポーツ推進委員功労者
表彰を受賞して

須賀川市 吉 田 澄 子

この度、受賞した事のきっかけは、ある日体育指導委員の依頼があり、私には出来るものではないとお断りしましたが、夫の後押しもあり引き受ける事になりました。

任期は2年1期との事で2年は長いと思っていましたが、引き受けたからにはしっかりやらなければという思いで、全行事すべて緊張しながら出席・参加しているとあっ

という間の1期であり、そのまま居心地がよく今迄となっております。

スポーツ推進委員の活動を通してたくさんの事を学び、人として成長させていただき、充実した有意義で楽しい時間を過ごさせていただきました。その中では、審判資格を修得したり、多くの人や大切な仲間との出会いもあり、私にとって掛け替えのない財産となりました。

今後も皆様の心身の健康を保つスポーツ事業に貢献できるよう活動していきたいと思います。

最後に、仲間・関係機関の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



「全国功労者表彰を受賞して」

白河市 佐久間 正 己

この度、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞することができましたこと、誠に身に余る光栄であります。今回の受賞は決して私一人の力によるものではなく、白河市教育委員会等関係各位の方々や、多くの仲間のご指導、ご協力のおかげと深く感謝申し上げます。

当初、体育指導員（現スポーツ推進委員）に昭和60年に任命されて以来、30余年地域のスポーツ推進委員としてスポーツ振興に携わり、スポーツ少年団を中心に、ルールを守ることはもちろんですが、礼儀礼節において指導してまいりました。

今後も、地域スポーツや生涯スポーツの振興、発展に努め、地域の活性化に貢献し、さらにはスポーツ少年団の指導や子ども達の健全育成、明るく元気な仲間作りに心がけていきたいと思っています。これからも今まで以上に、スポーツ推進委員として、地域スポーツに寄与するように活動をして行きたいと考えております。今後とも、変わらぬご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます、受賞の御礼といたします。ありがとうございました。



全国功労者表彰を受賞して

下郷町 玉川 森 男

平成元年4月に委員の委嘱を受け、長いようであったという間の35年間でした。

今回、表彰を受けるに当たり、諸先輩方や同僚委員、町教育委員会関係各位の御指導、御協力によりここまで歩むことができました。心より感謝申し上げます。

さて、私自身が楽しむスポーツ活動から、様々な種目を学び普及する立場となったスポーツ推進委員は、不安や戸惑いを覚えながらスタートしたことを思い出します。これまでスポーツをとおして、高齢者から子供まで幅広い年齢の皆さんと接することができ、多くの事を学ばせていただきました。

東日本大震災以降コロナ禍もあり、各種大会やイベントの減少、中止で活動の機会が少なくなり、スポーツ推進委員としての活動は何かを深く考えさせられました。

現在、町民の人口減少・少子高齢化や子供たちの運動離れが指摘され、スポーツの社会情勢は大きく変化していると感じています。その中で、「する・みる・ささえる」という観点からニーズに応じた活動をどのようにサポートができるかが今後の課題ではないでしょうか。

これからも皆が笑顔で楽しめる生涯スポーツや自分の最高のパフォーマンスを見せる競技スポーツまで、幅広くお手伝い出来るように今までの経験を生かしながら、一つひとつ同僚委員と共にスポーツの振興に努めて行きたいと思います。

今後とも皆様の御指導、御支援をお願いいたします。ありがとうございました。

(公社) 全国スポーツ推進委員連合30年勤続者表彰を受賞して



30年勤続者表彰を受賞して

富岡町 鈴木 重 利

この度、全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会において30年勤続表彰を受賞することができましたことは大変ありがたく身に余る光栄であります。これも関係機関の皆さまや、諸先輩方そしてスポーツ推進委員の仲間達の支えがあったからと本当に感謝申し上げます。

東日本大震災と原発事故により全町避難となった数年は集まることもままならない辛い時期もありましたが、町民の皆さんに少しでも体を動かす事の大切さやスポーツの楽しさを伝える事が出来ればとの思いから、仲間との結束も強くなり、町民の皆さんとの活動も楽しく活発になってきました。

ニュースポーツ普及など勉強しなければならないことが沢山ありますが、生涯スポーツを通して健康で活動的にいられるよう、これからも普及活動に精進して参ります。スポーツ推進委員としてこれからも仲間と協力して地域の皆さんの健康と仲間づくりに貢献していきたいと思います。ありがとうございました。

東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞して



スポーツを身近に

川俣町 三宅 逸 朗

私が体力指導員の委嘱を受け、現在スポーツ推進委員として活動し、諸先輩方や町、地域の皆様など多くの方々のご支援とご協力があったからこそ、この度受賞することができたと感じています。

体育指導員時代は、仲間づくりのためにとか健康づくりのためにが目的で課題を達成したり克服したりするための

手段として体育、運動を推進してきたように思います。

スポーツ推進委員と名称が変わったところから体育、運動からスポーツへ、スポーツの特性そのものに触れ楽しむことが求められるようになったと感じています。

私たちスポーツ推進委員には、スポーツを実践する機会を増すことに加えて、スポーツを見たり、スポーツを支えたり、スポーツを企画したりするなどそれぞれの立場から地域の方々がスポーツに関わっていけるように支援をしていくことが求められているのではないのでしょうか。

自営業の傍ら年数こそ長く関わってきましたが、各大会の企画段階から参加することは出来なく、当日の準備と後片付けなどの活動をしてきました。

今、コロナ禍明けにより多くの事業が再開されています。

この中止していた期間を事業の見直しの良い機会と捉えて、事業の在り方を考えたり地域の皆様がそれぞれの立場でスポーツに親しむことができるように、微力ながらも貢献できるように精進していきたいと思っています。



東北地区功労者表彰を受賞して

伊達市 菅野 忠 司

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞いたしましたことは誠に身に余る光栄であります。

これもひとえに長期に亘り支えてくださいました教育委員会をはじめ、関係機関の皆様、同僚の皆様のおかげであり、心より御礼申し上げます。

今までの歩みを顧みますと、ただその役にあった丈の気がします。拝命以来好きなスポーツの為ならと一生懸命勉強しながら子供達の指導にあたり、そして無我夢中で過ごしてきました。気がつくといく年が過ぎていたのかと正に時のたつ速さに驚くばかりです。

生涯スポーツの大切さが大いに語られるようになった今日この頃、ニュースポーツ等生涯スポーツの振興やスポーツを通して青少年の健全な育成はスポーツ推進委員にかせられた重要な役割とっております。

体育協会、スポーツ少年団に携わるなかで多くの人々と出会い楽しく過ごさせて頂きました。地区運動会、登山においては、企画・分担・設営・運営・撤収等と労力を問わず、何事もなく終了した時は満足感に十分ひたっていました。スポーツ少年団ではミニバスケットボールを指導していましたが、体格の相違等もあって公式戦ではなかなか連勝とはならず、子供達にくやしい思いをさせたのが心残りであります。

今後におきましても初心を忘れず、この受賞に恥じることのない様スポーツ推進委員としての役割を十分理解し、そして地域の皆様のスポーツ活動を微力ではありますがお手伝いしてまいりたいと考えておりますので、これからも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。



スポーツ推進委員20年の思い

本宮市 星 次 男

この度、7月7日岩手県花巻市総合体育館アネックスで開催されたスポーツ推進委員研究大会の席上にて功労賞の表賞状を賜り厚く御礼申し上げます。私が本宮市教育委員会からスポーツ推進委員の委嘱を受けてから早くも20年が経過しました。就任時、初めてのことばかりでかなり緊張していたことを思い出します。現在、本宮市のスポーツ推進委員の絆はとて良好で楽しく活動させていただいています。活動内容は随時行われる推進委員会をはじめ、4月にロードレース大会のスタッフ、6月に福島県の二本松市・本宮市・大玉村で毎年持ち回りで行われる安達地方スポーツ推進委員総会、10月に本宮市のスポーツ推進委員主催の市民体力測定会やもとみや駅伝競走大会のスタッフ、11月に市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会の中継所スタッフとしてこの1年携わってきました。また1月には新春スポーツのつどいに参加いたしました。この会は本宮市長をはじめ、各種のスポーツ団体の指導者が一堂に会し賑やかに懇親を深めて参加するたびに知り合いも増え、毎年楽しみにしています。またこの会を通じて私の東北地区スポーツ推進委員研究大会の表彰を再度設けていただきました。アトラクションやお楽しみ抽選会などで楽しいひと時を過ごしたところです。

私は現在71歳となり、そろそろ引退を考えながら、後進に譲ることも視野に入れています。令和6・7年度はスポーツ推進委員として継続する意向は示しており、健康管理に注意しながら本宮市のスポーツの発展のために精進してまいりたいと思っています。



東北地区スポーツ推進委員
功労者表彰を受賞して

須賀川市 佐藤 久美子

私は、平成14年4月から市スポーツ活動推進委員の任命を受け、活動を始めました。

地域でバレーボールの普及に力を入れていましたが、市のスポーツ推進委員の皆さんは様々なスポーツ経験者の集まりのため、とても勉強になりました。

特に、講演会や実技研修で得た事を、地域に持ち帰り生かす事が出来ました。木の幹が少しずつ成長する様に、私も少しずつ自信をつける事が出来ました。

しかし、現実にはスポーツ離れは否めません。そこで私が、特に力を入れて来たのが「ファミリーバドミントン」という競技です。地域でも教室や大会を毎年行い、小学生・中学生・高齢者を巻き込み、元気に仲良く開催しています。人数は3人と少ないし、スポンジのボールのため当たっても痛く無く、スマッシュを打てないので長くラリーが続きます。これからは一歩踏み込んで、学校と連携を取り合い、多くの子ども達に広めたいと思っています。

これまで活動が続けてこれたのも、スポーツ大好きな先輩方と仲間の皆さんが居たからです。行事後の反省会も、皆がざっくばらんに意見を出し合い次に繋げていこうと努力しています。皆んなさっぱりしていて大切な友人です。

これからは、後輩の育成に力を注ぎ、健康に注意し、感謝を忘れずに活動が続けて参ります。



東北地区功労者表彰を受賞して

三春町 渡辺 昭 好

この度、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を受賞することができ、身に余る光栄です。これまでにご指導ご協力いただいた諸先輩方をはじめ、共に活動をしてきた推進委員の方々、関係各所の方々の賜物であると深く感謝申し上げます。

私は、平成16年に三春町体育指導員を委嘱され、その後スポーツ推進委員として活動をしてまいりました。町の大イベントでもある「さくら湖マラソン」をはじめ、ふくしま駅伝、町民トレッキング等、数々のスポーツイベントにおいて町民の方々と共に活動をしてまいりました。そのたびに幅広い年齢層の方々と交流でき、私にとってかけがえのない経験となりました。

コロナ禍においては各活動の中止または縮小となり、制限せざるを得ない時期がありましたが、コロナが第5類になったことで、今までの活動が少しずつもとに戻り、今後もまた様々なイベントにおいて皆様とともに活動できることを願っております。

これからも地域のスポーツ活動の発展のために微力ながら貢献していきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。



東北地区功労者表彰を受賞して

白河市 眞 壁 貢

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することが出来たことは、誠に身に余る光栄であります。これも偏に、地域の方々、沢山の先輩、共に活動しているスポーツ推進委員の皆様、並びに関係各機関の皆様のご指導・ご協力のおかげであると、深く感謝申し上げます。

私がこの活動に参加して、丸30年が過ぎようとしております。その間、地域スポーツ大会への協力、又各種講習会への参加等、様々な活動を行って参りました。当初は、市体育協会（現スポーツ協会）の仕事と地区サッカー協会の仕事との掛け持ちで活動しており、本当に地域の皆様にスポーツの持つ楽しさが伝えられるのか、半信半疑でした。しかし、先輩方の助言や、後輩たちの協力、多種多様なスポーツの経験と交流を通して、様々な知識と友人・知人を得ることが出来、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

これからも心身共に健康な地域作りの為、いつでも、どこでも、誰でも、スポーツ活動が楽しめるよう、関係各機関や地域の皆様と協力して、より良い活動を進めていけたらと思っております。今後とも皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げまして、受賞のお礼の言葉とさせていただきます。



東北地区功労者表彰を受賞して

会津若松市 佐 瀬 良 一

この度は、岩手県花巻市において東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞出来た事は大変名誉であり、これも諸先輩方や一緒に活動してきたメンバーのお陰と心より感謝申し上げます。

私が会津若松市体育指導委員の委嘱を受けた「きっかけ」は、同じ地区体育連盟に所属していた先輩の後任とい

う形で委嘱されました。

お誘いの言葉「行ける時だけ行けば良いから心配いんねえ。名前だけ出しとくから。」の常套句にまんまと乗せられ承諾。

でも、自分の性格上どんな形であれ、最終的に自分で決めた事は「やってみる」という心構えでいましたが、幸いにも何人か顔見知りの方がいた事と、根っからのスポーツ好きが重なって、見事に短期間で馴染む事ができ、今

日まで楽しくスポーツ推進委員の活動をすることが出来ました。

新しく委嘱された方の中にも、出づらいなと思っている人もいますが、まず参加する事で「きっかけ」が出来て回りのメンバーも自分も変わっていくと思います。

現在、会津若松市スポーツ推進委員会の一推しのニュースポーツは、「フラボール」と言う変形ボールを使って行うソフトバレーボールのようなニュースポーツで、独自のローカルルールを作り、老若男女誰でも出来る「あいづフラボール」という名称で普及活動を行っております。先日也会津管内スポーツ推進協議会の委員が一堂に会し、競技会を行いました。

まだまだ一般の方々へ認知して貰えていませんので、この受賞を機にメンバー全員で力を合わせて頑張りたいと思います。



スポーツ推進員功労賞を
受賞して
北塩原村 大 竹 文 夫

この度、令和5年度福島県スポーツ推進委員協議会総会の席上におきましてスポーツ推進委員功労賞を賜りましてたいへん名誉なことで感謝申し上げます。また、推薦を頂きました福島県スポーツ推進委員協議会並びに関係各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

北塩原村は、村民いちスポーツを継承していることもありまして、私は20数年前にスポーツ指導者となり、スポーツ推進委員会の一員として今に至るところではあります。

私自身は、スポーツが好きで誰かに指導するというよりも皆でスポーツを楽しむ、それだけで今日まで来てしまったように感じます。色々思いはありますが、一様にみな楽しい思い出しかありません。こんな私を、推薦頂きましたこと心より感謝申し上げます。今後とも皆様方のご指導を賜ります様よろしくお願い申し上げます。



感 謝
下郷町 小 山 ひとみ

この度、東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞することができましたこと、心より御礼申し上げます。大変喜ばしく身に余る光栄です。

これもひとえに諸先輩方や関係者の皆さま、推進委員の仲間、活動を理解し協力してくれた家族のおかげです。本当にありがとうございました。

スポーツ推進委員の活動をとおしてたくさんの事を学び人としても成長させていただいたことは、貴重な時間であり財産となりました。町及び地域のスポーツ関係者など、多くの方々との出会い、交流をすることで、スポーツ推進委員として活動していなければ得ることができなかった経験をすることができました。

私自身、現在も地域のバレーボールチームに所属し、幅広い年代の方と交流させていただいています。こういった活動は情報交換や交流の場であり、生涯スポーツを推進していく中でとても貴重なコミュニティと感じています。

多くの種目で活動人口が減少している中、今あるコミュニティを大切にしていけるとともに、町民の皆さまに少しでもスポーツの楽しさ、体を動かすことの大切さを伝え、スポーツをとおした出会いを大切にしながら今後も地域のスポーツ活動に貢献していきたいと思います。本当にありがとうございました。



東北地区功労者表彰を受賞して
相馬市 猪 狩 浩 孝

この度は、東北地区スポーツ推進委員功労者表彰を頂きまして、誠に有難うございます。

これもひとえに、共に活動してきました推進委員の皆様方、各関係者の皆様方のご指導、ご協力の賜物と思い、心より感謝申し上げます。

思えば、平成13年に、当時の体育指導委員を委嘱され、当初はスポーツイベントのボランティアのイメージでお引き受けして、何も分からないままでの参加になりました。

そして、スポーツ推進委員になり、スポーツの推進事業、普及活動など、様々なスポーツに関する研修や講習等、いろいろな事を学び、それまでも、スポーツは好きで運動はやっていましたが、ただ好きというだけでやっていたので、改めてスポーツの重要性、運動の大切さが分かりました。

また、活動を通して、多くの方々と出会えた事や、地域スポーツ大会の円滑な運営に関わり、推進委員として、

貴重な体験をさせていただきました。

ここ数年は、少子化に伴うスポーツ人口の減少や、コロナウイルスの影響もあり、スポーツイベント等、身体を動かす機会が減っていましたが、昨年5月以降、徐々に日常的な生活が出来るようになり、スポーツ大会等も開催されるようになり、改めてスポーツができる、身体を動かせる喜びを感じているところであります。

今後とも、この受賞を励みに、より一層スポーツ推進委員の活動に力を入れていきたいと思っておりますので、皆様方のご指導、ご支援の程、よろしくお願い申し上げまして、受賞のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。



東北地区スポーツ推進委員
功労賞を受賞して

川内村 遠藤和之

この度、岩手県花巻市で開催された令和5年度東北地区スポーツ推進委員研修会に於いて、功労者表彰を受賞する事が出来誠に有難うございます。

これまで、私を支えて下さった川内村スポーツ推進委員の皆様と諸先輩方、又、関係機関の皆様のご指導とご支援に深く感謝申し上げます。

平成7年4月に先輩の体育指導員から、野球を中心にスポーツの振興を図るよう依頼を受けました。当時の川内村は、昭和61年度に長年に渡る野球での村おこしと村民の健康作りに貢献した功績で朝日新聞社より、「朝日体育賞」を、昭和63年度には「文化大臣賞」を受賞した野球が最も盛んな時期で、自分にはとても荷が重いと感じていましたが、多くの仲間に支えられ27年間活動を続けて来る事ができました。中でも特に思いで深いのは、平成23年3月に発生した東日本大震災、福島第一原発事故により避難を余儀なくされ、それまで、66回続いていた「夏季野球大会」の開催が危ぶまれ伝統が途切れそうになった時、全国に散った仲間に声をかけ、伝統を守り抜く事ができたことで、この上ない喜びでした。「野球で見せましょう川内の底力を!!」をスローガンに今年の76回大会まで続けており、100回大会開催を目標に頑張っています。

現在の川内村スポーツ推進委員は8名で（男4人、女4人）、川内村体育協会と連携し、それぞれの委員が、体育協会の理事を努め（野球、ソフトボール、バレーボール、テニス、ゴルフ等）地域スポーツの振興に貢献しています。今後も地域との繋がりを大事に各スポーツ大会、研修会に積極的に参加しスポーツで心も体も健康で地域の方々の生きがいに少しでも役立つよう、微力ながら取り組み頑張っていきたいと思っております。

今後とも皆様の更なるご指導とご協力の程お願い申し上げ、深く御礼申し上げます。



東北地区スポーツ推進委員
功労賞を受賞して

中島村 吉田成子

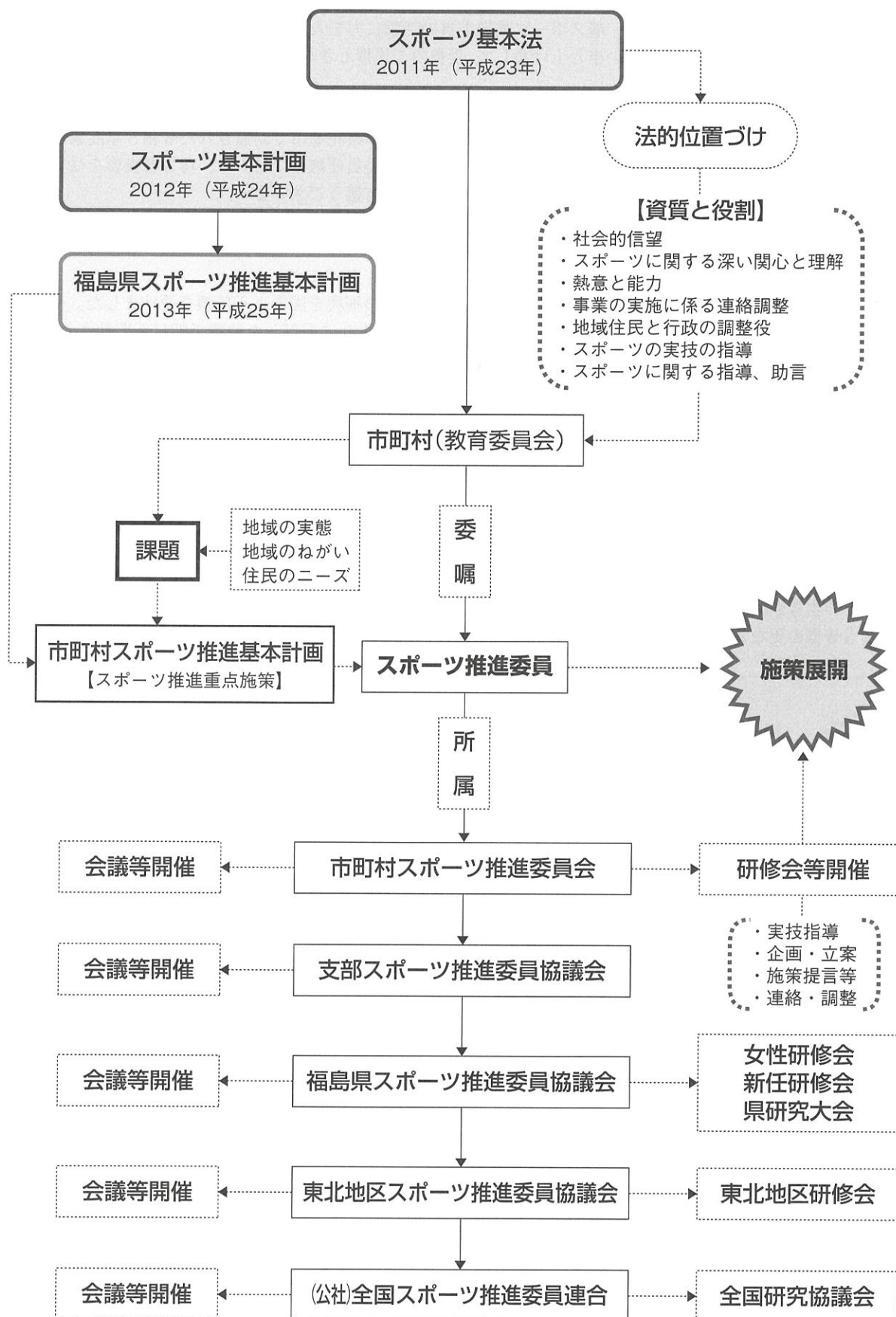
この度、岩手県にて開催されました、令和5年度東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受賞したことを、誠に光栄に思っております。これも村教育委員会を始め、諸先輩並びに同僚スポーツ推進委員の方々のご理解、ご協力、ご指導のおかげと心より感謝申し上げます。

私は、高校時代より始めた陸上競技で、インターハイに出場したことをきっかけに、社会人になっても、各地区マラソン大会や県選手権大会、全国都道府県対抗女子駅伝で好成績になっていたこともあり、村教育委員会より、私と村のマラソンランナー数人に「今度第1回ふくしま駅伝大会がありますが、参加しますか」と話があり、私は是非参加したいと言っていました。その時、一人でもマラソンを好きになって走ってくれる人が、多くなってほしいと思ったからです。第1回ふくしま駅伝大会は出産のため出場できず、アドバイスする支援コーチとして参加しました。第2回、第3回とふくしま駅伝大会に出場しましたが、産後の体は、前の時代の体とは違い、思うように走れませんでした。私にとっては良き思い出になっています。

その数年後、体育指導員として委嘱を受けました。以来25年、スポーツ推進委員をやらせて頂いておりますが、特に、中島村スポーツフェスティバル大会（マラソン大会）やふくしま駅伝大会を通じて、一人でも多くの方々に「スポーツを楽しむ・応援する喜び」や「人との出会い」をお勧めし、スポーツ推進委員として、地域の方々の健康づくりのお手伝いができればと思っております。

今後ともご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

スポーツ推進委員の役割（令和5年3月31日現在）



《スポーツ推進委員の資質》

- 社会的信望がある。
- スポーツに関する深い関心と理解がある。
- 職務を遂行する熱意と能力がある。
- 事業の実施に係る連絡・調整を行うことができる。
- 地域住民に対してスポーツの実技指導ができる能力を有する。
- 地域におけるスポーツに関する指導及び助言ができる能力を有する。

《スポーツ推進委員の役割》

- 指導・助言：地域スポーツ大会やスポーツ教室等の運営や指導・助言
- プランナー：各種事業や住民の意識調査、スポーツ振興計画作成への参画
- コーディネーター：各種事業の円滑な運営のための連絡・調整

《スポーツ推進委員の法的位置づけ》

体育指導委員制度は1957年（昭和32年）文部省が地域に密着したスポーツの振興を図るために、都道府県教育委員会に対し「地方スポーツの振興について」の文部事務次官通達を発し、併せて必要な助成措置を行なった。

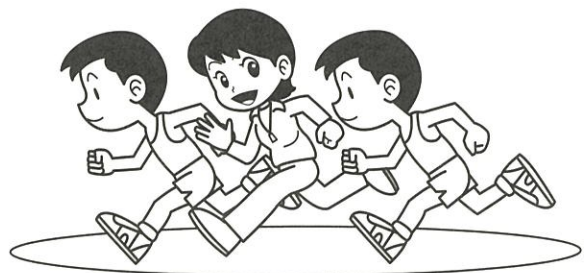
1961年（昭和36年）スポーツ振興法の制定と同時に、同法第19条において体育指導委員が位置づけられ、市町村教育委員会に非常勤公務員として必置規制がなされた。

1999年（平成11年）「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」が成立したことに伴い、同年8月にスポーツ振興法の一部改定が行なわれ、体育指導委員必置規制の弾力化が図られた。

さらに2011年（平成23年）スポーツ振興法（昭和三十六年法律第百四十一号）が全面改正され、スポーツ基本法が施行された。そこではスポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整としての役割が規定上追加され、当該職務をより適切に表す観点から、「スポーツ推進委員」に名称を変更した。

= スポーツ基本法 条文 =

- 第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあっては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。
- 2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあっては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。
 - 3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。



ふくしま広域スポーツセンター事業

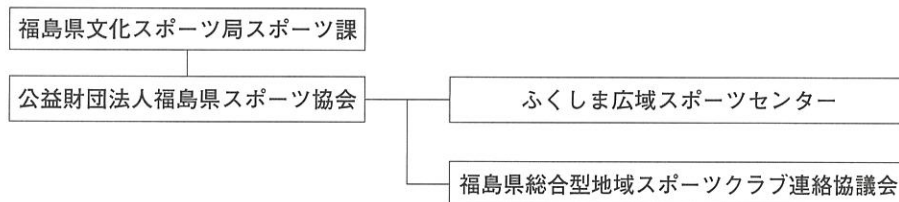
【ミッション】

ふくしま広域スポーツセンターは、県民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動を実践できる「生涯スポーツ社会の実現」を目指すため、総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着をより一層促進させ、人と地域が活力に満ちあふれる活動ができるよう支援します。

【ビジョン】

- 1 地域の特性を生かした総合型地域スポーツクラブの自主自立に向けた支援を行います。
- 2 各種団体との連携による総合型地域スポーツクラブの活性化を図ります。

【組織図】



【ふくしま広域スポーツセンターの役割】

- 総合型地域スポーツクラブの設立や運営に関する支援
- 総合型地域スポーツクラブのマネジャーや指導者の養成に関する支援
- 広域市町村圏におけるスポーツ振興に関する支援

【総合型地域スポーツクラブとは】

人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブです。

- (1) 子どもから高齢者まで（多世代）
- (2) 様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）
- (3) 初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）

この3つの特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを言います。

（引用：文部科学省ホームページより）

【福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会】

県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

県内で設立されている78の総合型地域スポーツクラブの内、公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会登録・認証制度に登録された43の総合型クラブによって構成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会 青森大会 報告

1 趣 旨

全国のスポーツ推進委員が一堂に会し、スポーツ推進委員の目指す方向性や地域スポーツの今日的な課題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

スポーツ庁 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
青森県スポーツ推進委員協議会 青森県 青森市教育委員会 青森市

3 主 管

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会青森県実行委員会

4 期 日

令和5年11月16日（木）～17日（金）

5 大会テーマ

「スポーツで煌めく笑顔のために」～青い森から縄文の風に乗って全国へ～

6 内 容

(1) 講 演

演 題 「笑って走れば福来たる

～私が笑顔で走り続けた理由～」

講 師 福士 加代子 氏 女子陸上競技オリンピック4大会連続出場

(2) シンポジウム

テーマ 「コロナ禍を越えたコミュニケーションスポーツの新しいかたち」

コーディネーター 石澤 伸弘 氏（北海道教育大学 札幌校 教授）

シンポジスト 村山 敏夫 氏（新潟大学 人文社会教育科学系 准教授）

伊藤 恵造 氏（秋田大学 教育文化学部 准教授）

目黒 伸一 氏（青森県スポーツ推進委員協議会 会長）

(3) 分科会

・第1分科会（リンクステーション青森）

テーマ 「スポーツが高齢社会で実現えること」

コーディネーター 村山 敏夫 氏（新潟大学人文社会教育科学系 准教授）

事例発表① 田中 博男 氏（マスターズ陸上世界記録保持者）

事例発表② 河原木 浩 氏（全日本マスターズスピードスケート銀メダリスト）

事例発表③ 目黒 伸一 氏（青森県スポーツ推進委員協議会 会長）

・第2分科会（リンクモア平安閣市民ホール）

テーマ 「地域スポーツがつながるために」

コーディネーター 伊藤 恵造 氏（秋田大学 教育文化学部 准教授）

事例発表① 正木 昌宣 氏（青森山田高等学校男子サッカー部 監督）

事例発表② 仲井 宗基 氏（八戸学院光星高等学校校式野球部）

事例発表③ 小嶋 徹也 氏（青森スポーツクリエイション株式会社アカデミー事業部
アカデミーディレクター（青森ワッツU-15コーチ））

7 参 加 者

全国 2473名 福島県 31名（7市町村より）



令和5年度東北地区スポーツ推進委員研修会 岩手県大会 報告

1 目 的

地域スポーツの推進者としての役割を担うスポーツ推進委員の資質の向上を図るため、東北各県から市町村において中心になって活躍しているスポーツ推進委員の参集を求め、地域スポーツ普及・振興に関する諸事項について、講演や実技研修を通して研修を行う。

2 主 催

公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合 東北地区スポーツ推進委員協議会
岩手県スポーツ推進委員協議会 岩手県

3 共 催

花巻市 北上市 西和賀町教育委員会

4 主 管

東北地区スポーツ推進委員研修会岩手県大会実行委員会、花巻市スポーツ推進委員協議会

5 後 援

スポーツ庁 青森県教育委員会 宮城県 秋田県 山形県教育委員会 福島県

6 期 日

令和5年7月7日（金）～8日（土）

7 会 場

令和5年7月7日8日 花巻市総合体育館アネックス（第3アリーナ）

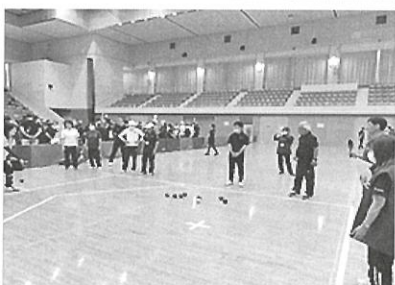
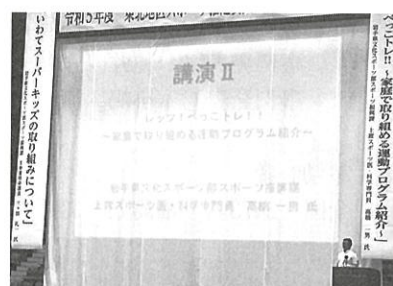
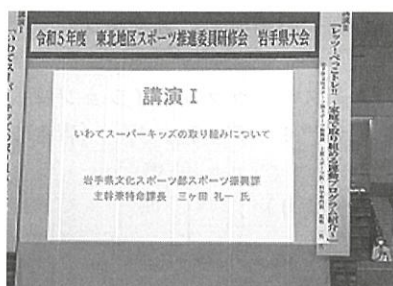
8 参 加 者

東北各県のスポーツ推進委員

東北各県及び各市町村スポーツ担当者、スポーツの指導に興味・関心がある方（881人）

9 内 容

- (1) 講演Ⅰ 演 題 「いわてスーパーキッズの取り組みについて」
講 師 三ヶ田 礼 一氏
(岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 主幹兼特命課長)
- (2) 講演Ⅱ 演 題 「レッツ！ぺっこトレ!! ～家庭で取り組める運動プログラム紹介～」
講 師 高 橋 一 男氏
(岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課 上席スポーツ医・科学専門員)
- (3) 実 技 I 卓球バレー (岩手県障がい者スポーツ協会)
II ボッチャ (岩手県障がい者スポーツ協会)
III ウォーキング (岩手県ウォーキング協会)



令和5年度福島県スポーツ推進委員研究大会 報告

1 目 的

県内各市町村のスポーツ推進委員が一堂に会し、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究の成果を発表・協議し、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

喜多方市 喜多方市教育委員会

4 後 援

福島県 北塩原村 西会津町 北塩原村教育委員会 西会津町教育委員会

5 主 管

耶麻地方市町村スポーツ推進委員協議会

6 期 日

令和5年10月20日（金）～10月21日（土） 2日間

7 会 場

喜多方プラザ文化センター 押切川公園体育館

8 参 加 者

スポーツ推進委員及び市町村教育委員会スポーツ担当者 272名

9 内 容

(1) 講 演

講 師：健康生活向上コーディネーター KO-JIYA・遊VIBA GYM

代 表 大内 克泰 氏

演 題：「福島県からアスリートと著名人の輩出を」

(2) パネリスト

テ ー マ：「地域とスポーツに根ざした取り組みとこれからのに向けた環境づくり」

ファシリテーター：一般社団法人F-WORLD代表理事 平 学 氏

パネリスト：NPO法人かけはし代表理事 石島 来太 氏

パネリスト：西会津町スポーツ少年団本部長 八幡 修二 氏

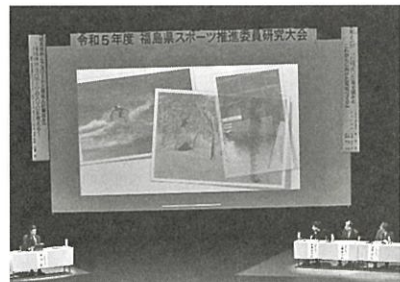
パネリスト：喜多方市スポーツ推進委員会委員長 津瀧 悟 氏

(3) 実技研修

① ボッチャ 講師：福島県障がい者スポーツ指導者協議会

② 太極拳 講師：喜多方市太極拳協会

③ ウォーキング 講師：実行委員会



第32回福島県女性スポーツ推進委員研修会 報告

1 目 的

県内の女性スポーツ推進委員が幼児及び女性や高齢者向けの実技指導のあり方について研修するとともに、それぞれの地域におけるスポーツの実践活動及び研究の成果を発表し合うことにより、資質の向上を図り生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

福島県 郡山市

4 期 日

令和5年6月5日（月） 13時00分～16時30分

5 会 場

郡山市安積総合学習センター 体育館

6 参 加 者

各市町村の女性スポーツ推進委員及び事務局担当者
その他希望するスポーツ推進委員

計99名

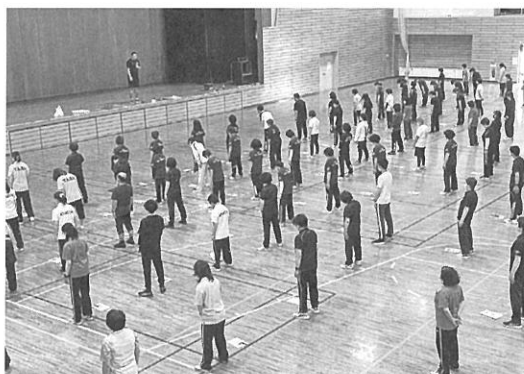
7 研修内容

講義 演題：「女性のスポーツ推進と栄養」

講師：藤田総合病院 管理栄養士 山崎有理子

実技 内容：「ライフキネティックス」

講師：遊VIVA GYM ☆ 能力開発・健康生活向上スクール 大内 克泰 氏



令和5年度福島県新任スポーツ推進委員研修会 報告

1 目 的

県内の新任スポーツ推進委員が、スポーツ推進委員としての役割及び生涯スポーツの指導に関する基礎理論及び実技指導を研修することにより、資質の向上を図るとともに、生涯スポーツの振興に資する。

2 主 催

福島県スポーツ推進委員協議会

3 共 催

福島県 郡山市

4 期 日

令和5年6月22日（木） 10時00分～15時30分

5 会 場

郡山市安積総合学習センター 集会室

6 参 加 者

令和5年度に委嘱された各市町村の新任スポーツ推進委員及び本研修会未受講者各市町村スポーツ推進委員会事務局担当者 計52名

7 研修内容

(1) 講義Ⅰ 「スポーツ推進委員の役割と今後の在り方について」

講師：スポーツ推進委員リーダー

佐藤 仁子 氏

(2) 講義Ⅱ 「スポーツボランティア初心者研修会」

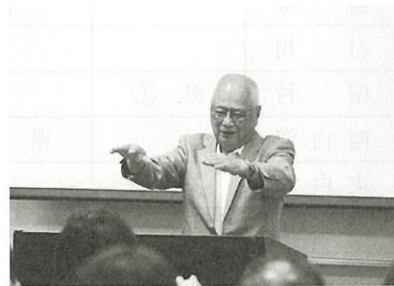
講師：公益財団法人日本財団ボランティアセンター認定講師

(一社) 東京都レクリエーション協会 参与

東京都レクリエーション・コーディネーター 飯田 弘 氏

NPO法人うつくしまスポーツルーターズ事務局長

齋藤 道子 氏



全国研究協議会・東北地区研修会・県研究大会開催予定地一覧

年 度	全 国	東 北	県	備 考
令和 6 年度	宮 崎 県	宮 城 県	白 河 市	
令和 7 年度	長 野 県	福 島 県	田 村 市	※東北
令和 8 年度	群 馬 県	山 形 県	相 馬 市	
令和 9 年度	鳥 根 県	秋 田 県	伊 達 市	
令和 10 年度	奈 良 県	青 森 県	本 宮 市	
令和 11 年度	山 梨 県	岩 手 県	福 島 市	
令和 12 年度	鳥 取 県	宮 城 県	郡 山 市	

※令和7年度東北大会開催年度については、田村市固定とし、相馬市を令和8年度開催とする。

【県研究大会開催地ローテーション】

福島市→郡山市→会津若松市→南相馬市→二本松市→須賀川市→いわき市→喜多方市
→白河市→相馬市→田村市→伊達市→本宮市（※ 震災・コロナの影響により変更）

【リーダー養成研修会の参加者には、原則として次年度の県大会開催支部から1名、59市町村から1名の2名を推薦する。】

分科会・シンポジウム担当割当表

年度 支部	令和6年度	令和7年度 東 北	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
福 島			県 ①				県 ②
伊 達				県 ①			
安 達	県 ②				県 ①		
郡 山		県 ②				県 ①	
岩 瀬			県 ②				県 ①
石 川				県 ②			
田 村	県 ①				県 ②		
西白河		県 ①				県 ②	
東白川			県 ①				県 ②
南会津				県 ①			
北会津	県 ②				県 ①		
耶 麻		県 ②				県 ①	
両 沼			県 ②				県 ①
いわき				県 ②			
双 葉	県 ①				県 ②		
相 馬		県 ①				県 ②	

① ○内の数字は「第○分科会」の数字を表す。

② 県大会でシンポジウムの依頼があった場合は、上記割当の支部で代表者を推薦する。

③ 東北研修会で発表がある場合は、候補支部の中でテーマに適した活動をしている市町村を役員会で決める。

④ ローテーションは事業によって変更する場合がある。

令和5年度福島県スポーツ推進委員協議会役員名簿

役 職	支部名等	役 員 氏 名	所 属	役 職	支部名等	役 員 氏 名	所 属		
顧 問		山 崎 光 彦	元 会 長	理 事	北 会 津	遠 藤 仁	会津若松市		
		五十嵐 啓 介	前 会 長		耶 麻	佐 藤 智 之	北塩原村		
		穂 本 哲 哉	スポーツ課		両 沼	星 孝 和	三 島 町		
会 長		松 田 義	福 島 市		南 会 津	佐 藤 隆 一	只 見 町		
副会長	県 中	平 栗 俊 一	須賀川市		相 馬	武 島 昭 良	相 馬 市		
	県 南	高 橋 ひろ子	西 郷 村		双 葉	瀧 幹 一	浪 江 町		
	会 津	伊 藤 富士江	会津若松市		い わ き	遠 藤 邦 男	いわき市		
	南 会 津	大 橋 通	南会津町		会 長 指 名	地区女性委員代表	県北	氏 家 美代子	川 俣 町
	相 双	小 屋 進	南相馬市				県中	佐 野 光 江	郡 山 市
	い わ き	斉 藤 祐 二	いわき市				県南	邊 見 弘 子	白 河 市
	女性委員代表	熊ヶ谷 頼 子	南会津町				会津	上 野 好 恵	西会津町
			南会津				熊ヶ谷 頼 子	南会津町	
理事長	福 島	作 田 謙太郎	福 島 市		相双	森 幸 子	相 馬 市		
理 事	伊 達	石 井 忠	伊 達 市	監 事	文ス局	い わ き	奥 田 和 子	いわき市	
	安 達	伊 藤 賢 一	二本松市			星 祐 司	ス ポー ツ 課		
	郡 山	三本木 正 光	郡 山 市			中 通 り	橋 本 晶 子	郡 山 市	
		岩 瀬	小 林 宏 次	鏡 石 町	幹 事	会 長 指 名	会 津	五十嵐 幸 廣	湯 川 村
		石 川	小 林 典 子	石 川 町			浜 通 り	松 本 智	葛 尾 村
		田 村	大河原 輝 子	田 村 市				二 瓶 励	ス ポー ツ 課
		西 白 河	須 永 敏 行	白 河 市				今 野 翔 太	ス ポー ツ 課
	東 白 川	白 坂 浩 一	矢 祭 町						

【支部女性委員代表】

地 区	支部名	氏 名	所 属	役 員 等	備 考
県 北	福 島	氏 家 美代子	川 俣 町	地区代表（理事）	
	伊 達	千 葉 美 知	伊 達 市		
	安 達	大 内 友 子	二本松市		
県 中	郡 山	佐 野 光 江	郡 山 市	地区代表（理事）	
	岩 瀬	佐 藤 久美子	須賀川市		
	石 川	矢 吹 タミイ	石 川 町		
	田 村	石 塚 久美子	田 村 市		
県 南	西白河	邊 見 弘 子	白 河 市	地区代表（理事）	
	東白川	武 藤 真 紀	棚 倉 町		
会 津	北会津	松 村 清 子	会津若松市		
	耶 麻	上 野 好 恵	西会津町	地区代表（理事）	
	両 沼	渡 部 秋 子	金 山 町		
南会津	南会津	熊ヶ谷 頼 子	南会津町	地区代表（理事）	
相 双	相 馬	森 幸 子	相 馬 市	地区代表（理事）	
	双 葉	蒔 田 由美子	浪 江 町		
いわき	いわき	奥 田 和 子	いわき市	地区代表（理事）	

令和5年度市町村スポーツ推進委員代表者・担当者一覧

令和6年2月末日現在

地区	No.	市町村	代表者名	担当者
福島	1	福島市	松田 義	矢野恵理子
	2	川俣町	三浦正一郎	斎藤 誠
伊達	3	伊達市	石井 忠	神保 伸朗
	4	桑折町	塩谷 靖夫	谷津 朋征
	5	国見町	澁谷 陽子	鈴木 俊大
安達	6	二本松市	伊藤 賢一	二階堂裕也
	7	大玉村	佐原 孝男	菊地 孝宏
	8	本宮市	菅野 三郎	山本 邦洋
郡山	9	郡山市	三本木正光	水野 奨也
岩瀬	10	須賀川市	平栗 俊一	渡辺 裕太
	11	鏡石町	小林 宏次	大竹 修平
	12	天栄村	石井 勝博	星 修平
石川	13	石川町	小林 典子	藤島 祐摩
	14	玉川村	渡辺 正隆	曲山 博貴
	15	平田村	佐藤 俊光	坪井 弘太
	16	浅川町	濱田 猛	角田 寛典
	17	古殿町	鈴木 慶子	緑川 孝之
田村	18	田村市	大河原輝子	遠藤 和夫
	19	三春町	三瓶 清友	松崎 俊介
	20	小野町	大柴 登	清野 昭雄

地区	No.	市町村	代表者名	担当者
西白河	21	白河市	須永 敏行	吉田 勇大
	22	西郷村	高橋ひろ子	星 拓真
	23	中島村	野木 俊朗	木村 修
	24	矢吹町	小針 栄子	佐久間美華
	25	泉崎村	本柳 光一	西横 健一
東白川	26	棚倉町	緑川 浩一	大沼 幸二
	27	塙 町	菊池 一裕	金澤 秀憲
	28	矢祭町	白坂 浩一	小林 亮
	29	鮫川村	中川西久男	中川西伯仁
北会津	30	会津若松市	遠藤 仁	渡部 静菜
	31	磐梯町	石部 正浩	新國 兼也
	32	猪苗代町	磯川 正雄	渡部 亮
耶麻	33	喜多方市	津瀧 悟	栗林 実
	34	北塩原村	佐藤 智之	棚木 岳斗
	35	西会津町	長谷川辰男	鈴木志寿子
両沼	36	会津坂下町	小池 弘輝	山内颯太郎
	37	湯川村	五十嵐幸廣	坂内 俊介
	38	柳津町	藤田 一実	増井 我久
	39	会津美里町	星野 幸子	木崎 雄策
	40	三島町	星 孝和	中丸 拓
	41	金山町	雪下 明	斉藤 啓太
	42	昭和村	五十嵐道夫	菅家 良太

地区	No.	市町村	代表者名	担当者
南会津	43	南会津町	大橋 通	小山内陸人
	44	下郷町	玉川 森男	吉村 周平
	45	檜枝岐村	星 満	平野 暁史
	46	只見町	佐藤 隆一	目黒 英樹
相馬	47	相馬市	武島 昭良	関 駿真
	48	新地町	菅野 孝雄	林 重貴
	49	南相馬市	小屋 進	佐藤 雄大
馬	50	飯館村	大内 亮	林 良蔵
双葉	51	浪江町	瀧 幹一	関口 諒
	52	葛尾村	松本 智	船木 稜真
	53	双葉町	箭内 充	加村めぐみ
	54	大熊町	千葉 幸生	志賀 秀一
	55	富岡町	鈴木 重利	小林 亨輔
	56	川内村	遠藤 和之	松崎 隆平
	57	広野町	根本 敏法	坂本 拓貴
	58	楡葉町	猪狩 慶彦	鈴木 友夏
いわき	59	いわき市	斉藤 祐二	松崎 和己

各種表彰受賞者一覧

年度 支部	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度																
福島	尾菅関景齋	形野川井藤	省増英正	次夫子明人	嶋	原次雄	佐斎佐梅鶴相	藤藤藤宮川原	忠房裕光義	広夫子均雄幸	後三本齋	藤浦田藤	由良正勝	美太人	子朗人士	黒津高森小渡芳佐	羽田橋口原遺賢藤	達純良和孝正秀	則一行春嗣努人美		鳥今佐	居野藤	邦和晴	恵好美	佐廣	藤野	文義	子孝			
伊達					和松菅	田浦野	昌秀悦	子明子	瀧	谷陽子	齋塩浅渡	藤谷野辺	英靖利重	政夫之子	伊齋	藤藤	玲幸	子男	菅池佐加佐齋山金	野田藤藤藤木野	敦悦和善史健一麻	子子好広彦太芳衣	佐藤	一	庄	橋渡	辺	真裕	吾之		
安達	川阿國佐野	崎部分藤内	邦正喜文	彦彦忠郎孝	伊眞桑	藤田原	勝博恵	美史美	諸菅遠	橋原藤	一奈弘	信子道	三渡	浦辺	貴	志好	大新松三佐	内谷本浦木	友義昌正久美	子晴文子	遠藤	藤英樹	遠藤	聡	梅佐	津藤	芳健	正一			
郡山					佐関上小笹佐佐	藤野熊山藤藤	政美正京久	弘昇秀雄郎子美				古村加青宮及鈴	川上菊山川川木	正清武崇	勲直博彦美紀正						石吾遠	田妻藤	慶五清	仁子之			熊高若洪	田橋林谷	光功明	宏基一弘	
	岩瀬	鈴佐平石大門横栄	木藤栗井田谷田	順久俊 三明清ひ	子一男美子み				黒有斎斎鈴小野	田馬藤藤木間	紘忠文敏直利	市男枝夫樹昭	藤照昭	小柏影根吉上	松村山本田妻	智正義邦	子光孝大恵孝									鈴大熊松太石	木槻谷本田井	美美修滋勝	子子聡一美博		
石川	三蛭	瓶田	善孝哲	中島徹																											
田村	三大吉先	部栗田崎	武治恵	夫登美美	根村齋	内上藤	貴	司淳勝	会亀	田田	久美理	柏山橋	原中本	一由香	勝功里																
西白河	松折邊原吉	山笠見田田	和敏弘知小	弘之子幸子	塩佐木	澤木内	裕	也崇高	廣根先矢松鈴	瀬本崎吹崎木	和信松加真雅	子子雄代美也																			
東白川																															
南会津	星			近	印大五十	南東嵐藤	春一健隆	樹臣司一	渡星馬菅小渡	部場家野部	敏富大順孝	一之美善子男	小山	山田	ひと蔵	と蔵	五十嵐	藤進広賢	也一郎	一緒	陽麻	風取	五十嵐	藤進広賢	佐星	田梁五平	村取風野	由久崇	起元之	子健元之	
北会津	佐矢二	瀬木瓶	良郁正	一雄入	鈴木啓太	安昆遠須	部野藤藤	重克秀博	浩昭明幸	松村清子	高畑	潤	神神五十	田本風	和三史	秀恵朗	佐藤仁子	藤仁子	藤仁子												
耶麻	鈴木陽介	安昆遠須	部野藤藤	重克秀博	浩昭明幸																										
両沼	菅鈴	家木	友美	子恵	笹猪藤田	川保田崎	純奈一	一美実恵	小池弘輝	山佐山	口藤崎	新一	守一人	五十嵐	道夫																
いわき					鈴秋齋緑坂	木山藤川本	孝里祐伸久美	子美二弥子																							
双葉	菊久猪	池田狩	直利	子学夫	松鈴川吉西	木本井田山	万光美嘉喜	江政樹明恵																							
相馬	鈴松杉境	木本原	時重祥	子淳博友	針峰ヶ	谷谷	克万	子美二弥子	立大佐和松	谷主藤泉本	ち光ひ森	子雄美子雄	戸池部澤	貴光昌和	恵子弘巳	佐三岡管	藤松崎野	鎌渡	田部	恭達	行也	徳子美清	伊新菅荻	東妻谷野	正公孝利	光夫生夫					

2 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰

平成23年		平成24年		平成25年	
近 藤 崇 (東白川)	影 山 信 子 (郡 山)	三 浦 光 雄 (福 島)	五十嵐 啓 介 (西白河)	沼 沢 行 晴 (福 島)	阿 部 昌 広 (北会津)
石 井 忠 (伊 達)	佐 藤 弘 信 (石 川)	水 戸 眞由子 (福 島)	遠 藤 公 一 (東白川)	佐 藤 研 策 (福 島)	菅 家 豊 子 (両 沼)
田 部 照 男 (北会津)	野 田 恒 夫 (福 島)	八 巻 源 一 (伊 達)	松 本 直 子 (東白川)	濱 津 たか子 (郡 山)	木 下 武 司 (南会津)
宗 像 一 久 (田 村)	千 葉 梅 子 (双 葉)	佐 藤 延 子 (安 達)	渡 部 芳 江 (北会津)	佐 藤 勝 男 (郡 山)	玉 川 森 男 (南会津)
小 林 芳 信 (耶 麻)	杉 内 貞 夫 (安 達)	菅 野 三 郎 (安 達)	高 橋 一 美 (北会津)	石 井 忠 重 (田 村)	亀 岩 正 寛 (相 馬)
中 上 徹 (西白河)	鈴 木 栄 喜 (いわき)	天 野 景 明 (郡 山)	星 陽 子 (北会津)	佐久間 正 己 (西白河)	熊 正 子 (相 馬)
小 屋 進 (相 馬)	高 橋 富 蔵 (北会津)	安 藤 順 子 (岩 瀬)	岩 田 多 吉 (耶 麻)	入 谷 みちこ (西白河)	箱 崎 しげ子 (いわき)
斎 藤 早 苗 (両 沼)	金 澤 明 徳 (東白川)	鈴 木 慶 子 (石 川)	根 本 利 幸 (両 沼)	佐 川 昭 夫 (東白川)	鈴 木 良 成 (いわき)
		笠 間 忠 (田 村)	土 橋 一 徳 (南会津)		
		土 屋 省 一 (田 村)	石 田 義 広 (相 馬)		
		宗 像 智 (田 村)	松 野 たつ子 (相 馬)		
		真 船 恒 郎 (西白河)	白 土 正 衛 (いわき)		
		天 倉 健 (西白河)	吉 田 美佐子 (いわき)		

平成26年		平成27年		平成28年	
林 正 直 (福 島)	古 橋 博 (東白川)	鈴 木 み よ (福 島)	鈴 木 祐 美 (北会津)	山 田 達 男 (福 島)	菅 原 幸 夫 (西白河)
大 橋 美佐子 (伊 達)	長 塚 守 男 (東白川)	布 野 清 子 (福 島)	伊 藤 富士江 (北会津)	千 葉 芳 美 (安 達)	石 井 久 子 (北会津)
佐 藤 辰 雄 (伊 達)	長谷川 辰 男 (耶 麻)	大 内 伸 一 (伊 達)	上 野 恵 子 (耶 麻)	高 野 トシ子 (郡 山)	舟 城 敬 子 (耶 麻)
安 田 昇 (郡 山)	長 嶺 祥 一 (両 沼)	服 部 忠 男 (郡 山)	八 巻 京 子 (相 馬)	野 中 千佐子 (郡 山)	吉 田 幸 輔 (両 沼)
橋 本 喜 一 (岩 瀬)	河原田 信 弘 (南会津)	鈴 木 高 雄 (郡 山)	栗 田 要 (双 葉)	塩 谷 光 子 (岩 瀬)	平 野 光 一 (両 沼)
佐 藤 俊 光 (石 川)	馬 場 要 助 (南会津)	三 瓶 清 友 (田 村)	天 野 月 子 (双 葉)	蒲 生 博 明 (石 川)	大 橋 通 (南会津)
柳 沼 孝 則 (田 村)	星 信 子 (南会津)	小 針 栄 子 (西白河)	鈴 木 俊 次 (いわき)	渡 辺 清 平 (田 村)	水 戸 洋 一 (相 馬)
高 橋 ひろ子 (西白河)	小 倉 陽 一 (相 馬)	松 本 一 伺 (東白川)		草 野 和 司 (田 村)	石 井 文 雄 (いわき)

平成29年		平成30年		令和元年度	
氏 家 美代子 (福 島)	高 田 雅 雄 (西白河)	松 本 隆 男 (福 島)	芳 賀 英 雄 (西白河)	三 浦 正一郎 (福 島)	吉 田 晴 美 (西白河)
齋 藤 正 明 (伊 達)	橋 本 義 治 (東白川)	丹 治 傳一郎 (伊 達)	白 坂 浩 一 (東白川)	深 谷 美江子 (伊 達)	小 林 兵 吉 (西白河)
菅 野 幸 一 (伊 達)	鈴 木 智 子 (北会津)	鈴 木 靖 三 (伊 達)	上 野 幸 男 (耶 麻)	小 原 公 子 (伊 達)	石 川 奈 保 (東白川)
武 田 智 道 (安 達)	小 沼 幸 子 (両 沼)	櫻 井 弘 和 (安 達)	五十嵐 幸 廣 (両 沼)	大 内 孝 司 (安 達)	磯 川 正 雄 (北会津)
中 原 喜 範 (郡 山)	田 崎 為 浩 (両 沼)	田 原 秀 子 (郡 山)	星 秀 紹 (南会津)	菅 野 多佳子 (安 達)	上 野 好 恵 (耶 麻)
吉 田 武 夫 (岩 瀬)	熊ヶ谷 頼 子 (南会津)	浜 津 みゆき (郡 山)	山 田 伸 一 (相 馬)	瀬 和 マユミ (岩 瀬)	福 島 久美子 (両 沼)
水 野 礼 子 (石 川)	横 田 喜美子 (双 葉)	吉 田 澄 子 (岩 瀬)	渡 谷 容 寿 (双 葉)	早 川 孝 夫 (田 村)	荒 義 裕 (相 馬)
塩 田 隆 一 (田 村)	櫛 田 庄 一 (いわき)	有 松 保 則 (西白河)	小 林 恵 (いわき)	飛 田 直 (田 村)	箭 内 充 (双 葉)

令和2年度		令和3年度		令和4年度	
作 田 謙太郎 (福 島)	土 屋 みどり (西白河)	寺 島 幸 三 (福 島)	本 多 守 (東白川)	八 巻 純 子 (福 島)	松 本 敏 夫 (東白川)
寺 島 武 (伊 達)	緑 川 浩 一 (東白川)	磯 松 等 (安 達)	目 黒 充 博 (北会津)	大 塚 美代子 (伊 達)	田 中 剛 (耶 麻)
鈴 木 喜 男 (安 達)	伊 藤 俊 朗 (北会津)	増 子 善 次 (郡 山)	蒲 生 仁 (耶 麻)	鳴 原 和 洋 (安 達)	渡 部 秋 子 (両 沼)
野 村 和 子 (郡 山)	栗 城 三 市 (両 沼)	真 壁 正 芳 (岩 瀬)	児 島 冷 子 (両 沼)	伊 藤 秋 義 (安 達)	星 近 (南会津)
内 山 美佐子 (岩 瀬)	玉 川 哲 也 (南会津)	八 木 操 (岩 瀬)	菊 地 実 佐 (南会津)	平 栗 俊 一 (岩 瀬)	佐 藤 忠 人 (相 馬)
水 野 輝 政 (石 川)	菅 野 真 弘 (相 馬)	佐 藤 アキイ (石 川)	菅 野 孝 雄 (相 馬)	矢 吹 タミイ (石 川)	岡 田 貫 児 (双 葉)
吉 田 義 美 (田 村)	矢 森 洋 一 (双 葉)	渡 辺 芳 江 (田 村)	千 葉 幸 生 (双 葉)	坪 井 孝 幸 (田 村)	菊 池 直 子 (双 葉)
渡 邊 由美子 (西白河)	新 妻 みゆき (いわき)	竹 内 豊 (西白河)	三 戸 まゆみ (いわき)	野 木 俊 明 (西白河)	遠 藤 邦 男 (いわき)

令和5年度	
三 宅 逸 朗 (福 島)	佐 瀬 良 一 (北会津)
菅 野 忠 司 (伊 達)	大 竹 文 夫 (耶 麻)
星 次 男 (安 達)	栗 城 三 津夫 (両 沼)
三本木 正 光 (郡 山)	小 山 ひとみ (南会津)
佐 藤 久美子 (岩 瀬)	猪 狩 浩 孝 (相 馬)
鈴 木 博 敏 (石 川)	遠 藤 和 之 (双 葉)
渡 辺 昭 好 (田 村)	斉 藤 祐 二 (いわき)
真 壁 真 (西白河)	吉 田 成 子 (西白河)

3 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合功労者表彰

昭和45年	昭和46年	昭和47年	昭和48年	昭和49年	昭和50年
相川 昇(双葉)	宮崎 徳治(二本松)	安藤 松男(石川)	鈴木 博(郡山)	佐藤 鉄雄(河東)	渡辺 市松(福島)

昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年
細川 健(福島)	星 好雄(下郷)	鈴木 一平(いわき)	駒西 五郎(二本松)	武田 守(福島)	西牧 晋二(石川)
草野 仁(いわき)	遠藤 久雄(喜多方)	高城 繁雄(原町)	小林 重信(鹿島)	佐藤 学(富岡)	上野 市男(熱塩加納)

昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年
遠藤 輝雄(須賀川)	佐々木 幸一郎(福島)	上田 昌夫(柳津)	佐藤 金一(伊達)	小木 豊治(石川)	渡辺 秋雄(二本松)
藤井 民二(いわき)	阿部 貞彦(郡山)	郡 芳一(鹿島)	吉田 誠(滝根)	萩原 三雄(いわき)	草野 吉四郎(棚倉)
					穴戸 弘典(富岡)

昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
大塚 利雄(郡山)	村田 力哉(郡山)	伊藤 光春(郡山)	永澤 悦(福島)	佐藤 孝子(郡山)	菅野 不二彦(福島)
生方 利夫(鮫川)	吉田 博一(矢祭)	加藤 浩(喜多方)	河野 勇(白河)	深谷 政蔵(いわき)	杉山 俊彦(岩代)
常盤 利昭(大熊)	只野 栄一(相馬)	石田 隆一(原町)	小室 勇(塙)	新妻 丈夫(原町)	阿部 嘉明(郡山)

平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年
松浦 源吉(保原)	難波 平八郎(白河)	後藤 不二夫(福島)	安田 巖(福島)	斎藤 功夫(福島)	今野 剛光(福島)
永山 美智子(郡山)	松崎 繁(喜多方)	斎藤 元(郡山)	小島 正利(保原)	原 源一(熱塩加納)	藤泉 昭一(三春)
松崎 秀吉(大越)	鈴木 庸一(いわき)	根本 重勝(表郷)	佐藤 祐次(郡山)	長谷川 義翁(いわき)	長田 辰夫(矢祭)
		後藤 勇雄(猪苗代)	鈴木 周則(塩川)	目黒 博(新地)	塩田 一恵(柳津)
		小峰 忍(いわき)	桑原 高志(いわき)		小野 ヒロ子(鹿島)

平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
橋 政弘(保原)	菅野 哲男(月舘)	小林 正彦(二本松)	富田 徳治(福島)	佐藤 健(平田)	斎藤 公民(福島)
渡邊 満男(白河)	須藤 博(白河)	相楽 宗廣(郡山)	半澤 万徳(月舘)	穂積 忠芳(表郷)	阿部 輝雄(喜多方)
渡部 孝美(会津若松)	佐藤 邦男(塙)	斎藤 節子(須賀川)	鈴木 文子(長沼)	鈴木 文男(塙)	五十嵐 久夫(昭和)
高木 文郎(いわき)	吉田 誠(いわき)	高木 伸勝(いわき)	高崎 教正(いわき)	薄 俊昭(会津本郷)	福田 一男(いわき)
豊田 宏朗(鹿島)	幸森 正男(広野)	志賀 秀栄(大熊)		加藤 京子(いわき)	小山田芳(南相馬市(旧鹿島町))

平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
東城 藤吉(伊達)	佐藤 成行(須賀川)	斎藤 徹(安達)	安田 仙松(福島)	高橋 光子(福島)	山崎 光彦(福島)
松本 昌記(二本松)	菅家 靖一郎(金山)	青山 昭(郡山)	柳 沼 悌(郡山)	菅野 敬(安達)	中山 豊子(岩瀬)
堀 正治(郡山)	吉沢 昭夫(いわき)	穴倉 廣和(双葉)	渡部 喜則(北会津)	高倉 好博(両沼)	小針 孝廣(西白河)
長谷川 正市(湯川)	山田 喜一郎(南相馬)	日下 秀男(相馬)	佐々木 清一(双葉)	山口 征子(いわき)	二瓶 伸博(両沼)
坂本 満恵(いわき)					

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
松崎 和美(郡山)	半澤 美樹夫(二本松)	遠藤 正行(伊達)	松田 義(福島)	渡辺 京子(郡山)	野田 恒夫(福島)
小林 昭一(岩瀬)	落合 薫(郡山)	菅野 力雄(安達)	清野 良治(伊達)	小林 典子(石川)	伊藤 賢一(安達)
古川 昭雄(北会津)	岡田 長次(浅川)	嶋崎 マサ子(郡山)	斎藤 康雄(安達)	榎本文恵(田村)	中上 徹(西白河)
古川 兼良(いわき)	樋口 栄一(会津坂下)	石井 文和(岩瀬)	鈴木 太一(東白川)	大塚 恭一(西白河)	米津 とき子(相馬)
	会川 新平(いわき)	武島 昭良(相馬)	佐藤 奈美子(いわき)	遠藤 仁(北会津)	鈴木 栄喜(いわき)

平成30年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
石井 忠(伊達)	佐原 孝男(安達)	黒澤 敏雄(福島)	渡部 芳江(北会津)	沼澤 行晴(福島)	氏家 美代子(福島)
杉内 貞夫(安達)	堀田 賢治(西白河)	濱津 たか子(郡山)	小針 栄子(西白河)	佐藤 延子(安達)	吉田 澄子(岩瀬)
五十嵐 啓介(西白河)	本多 春子(東白川)	宗像 智(田村)	石田 義広(相馬)	遠藤 公一(東白川)	佐久間 正己(西白河)
二瓶 芳雄(北会津)	田部 照男(北会津)	高橋 ひろ子(西白河)	古橋 博(東白川)	伊藤 富士江(北会津)	玉川 森男(南会津)
鈴木 武司(いわき)	小屋 進(相馬)	松本 直子(東白川)	佐藤 昶(福島)	大橋 通(南会津)	

4 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合優良団体表彰

平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
郡山市体育指導委員会	会津若松市体育指導委員会	二本松市体育指導委員会	須賀川市体育指導委員会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
白河市体育指導委員会	相馬市体育指導委員会	福島支部体育指導委員連絡協議会	三春町体育指導委員会	北会津管内体育指導委員連絡協議会	南相馬市体育指導委員会
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
安達地方体育指導委員連絡協議会	岩瀬管内体育指導委員連絡協議会	いわき市体育指導委員会	喜多方市体育指導委員会	白河市スポーツ推進委員会	相馬市スポーツ推進委員会
平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
該当なし	伊達地方スポーツ推進委員連絡協議会	該当なし	本宮市スポーツ推進委員会	福島市スポーツ推進委員会	田村市スポーツ推進委員会
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
会津若松市スポーツ推進委員会	該当なし	該当なし	南相馬市スポーツ推進委員会	該当なし	

5 文部大臣表彰（平成13年以降文部科学大臣表彰）

昭和57年	昭和62年	平成4年	平成7年(連合設立20周年記念)	平成9年	平成12年
渡辺市松(福島)	騎西五郎(二本松)	細川健(福島)	佐々木幸一郎(福島)	佐藤金一(伊達)	伊藤光春(郡山)
遠藤久雄(喜多方)	遠藤輝雄(須賀川)	阿部貞彦(郡山)	加藤浩(喜多方)	村田力哉(郡山)	吉田博一(矢祭)
鈴木一平(いわき)	小林重信(鹿島)	郡芳一(鹿島)	穴戸弘興(富岡)	難波平八郎(白河)	松崎繁(喜多方)
				常盤利昭(大熊)	
平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
永山美智子(郡山)	齋藤元(郡山)	渡部孝美(会津若松市)	塩田一恵(柳津)	小林正彦(二本松)	今野剛光(福島)
鈴木周則(塩川)	根本重勝(表郷)	石田隆一(原町市)	渡邊満男(白河)	薄俊昭(会津美里)	高崎教正(いわき)
平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
鈴木文男(端町)	堀正治(郡山)	菅野哲男(伊達)	柳沼暢(郡山)	高橋光子(福島)	山崎光彦(福島)
阿部輝雄(喜多方)	佐藤成行(須賀川)	坂本満恵(いわき)	斎藤徹(安達)	安田仙松(福島)	小針孝廣(西白河)
平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
松崎和美(郡山)	岡田長次(石川)	菅野力雄(安達)	穂積忠芳(西白河)	佐藤奈美子(いわき)	松田義(福島)
古川昭雄(会津若松)		石井文和(岩瀬)	日下秀男(相馬)	鈴木太一(東白川)	遠藤仁(北会津)
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
大塚恭一(西白河)	會川新平(いわき)	小屋進(相馬)	本多春子(東白川)	佐原孝男(安達)	
武島昭良(相馬)	米津とき子(相馬)	菅野敬(安達)	野田恒夫(福島)	沼澤行晴(福島)	

福島県スポーツ推進委員協議会規約

第1章 総 則

第1条 本会は、福島県スポーツ推進委員協議会と称し、事務所を福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課内におく。

第2章 組 織

第2条 本会は、福島県内各市町村スポーツ推進委員をもって組織する。

第3条 本会は、次の地区に16の支部協議会をおく。

- (県北地区) 福島、伊達、安達
- (県中地区) 郡山、岩瀬、石川、田村
- (県南地区) 西白河、東白川
- (会津地区) 北会津、耶麻、両沼
- (南会津地区) 南会津
- (相双地区) 双葉、相馬
- (いわき地区) いわき

2 南会津及びいわき支部協議会を除く各支部協議会は、教育事務所管内ごとに地区協議会をおくことができる。

第3章 目的及び事業

第4条 本会は、会員相互の連絡を図り、スポーツ推進委員の資質向上と、体育・スポーツの推進に寄与することを目的とする。

第5条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 体育・スポーツに関する情報交換
- (2) 体育・スポーツに関する研修
- (3) 体育・スポーツに関する調査研究
- (4) その他目的達成に必要な事業

第4章 役 員

第6条 本会に、次の役員をおく。

会長1名、副会長7名、理事長1名、理事22名、監事3名、幹事若干名

第7条 会長及び副会長の選出は、次のとおりとする。

- 2 会長及び副会長は、地区から選出の各1名（以下、地区選出者）及び女性委員代表とする。
- 3 会長は、地区選出者の中から互選によって定める。
- 4 副会長は、会長に互選された以外の地区選出者及び女性委員代表とする。

第8条 理事は、各支部協議会より1名選出し、会長が委嘱する。このほか会長は、各地区より選出された女性委員1名及び学識経験者を理事として指名し、委嘱することができる。

2 理事長は、理事の互選とする。

第9条 監事は、県北・県中・県南で1名、会津・南会津で1名、相双・いわきで1名を選任する。

第10条 幹事は、会長が委嘱する。

第11条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を総理する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 理事長は、会務を掌理する。

- (4) 理事は、理事会を組織し、重要事項を審議する。
- (5) 監事は、本会の会計を監査する。
- (6) 幹事は、理事長の命により庶務・会計を司る。

第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。補充の場合は前任者の残任期間とする。また任期満了といえども後任者決定までは、その職務を行うものとする。

第13条 この会に顧問をおくことができる。顧問は理事会の推薦によって会長がこれを推戴し、重要事項の諮問に応ずる。

第5章 会 議

第14条 本会に次の会議を置く。

- (1) 役員会
- (2) 理事会
- (3) 総 会

第6章 役 員 会

第15条 役員会は第7条の会長、副会長、第8条2項の理事長をもって構成する。

- 2 役員会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 役員会は、会長が必要と認めたときに会長が招集する。
- 4 役員会は次の事項を議決する。
 - (1) 総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) その他会務執行に関する事項

第7章 理 事 会

第16条 理事会は第7条の会長、副会長、第8条の理事をもって構成する。

- 2 理事会の議長は会長とし、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 理事会は年3回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 役員会で審議された、総会に付議すべき事項
 - (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
 - (3) 事業計画及び収支予算の変更

第8章 総 会

第17条 総会は各市町村代表者1名をもって構成する。

- 2 総会の議長は総会構成委員の中から選出し、議事は出席者の過半数をもって決定する。
- 3 総会は年1回開催し、次の事項を議決する。
 - (1) 事業計画及び収支予算
 - (2) 事業報告及び収支決算
 - (3) 規約の改正
 - (4) 役員の選出
 - (5) その他重要事項

第9章 委 員 会

第18条 本会に表彰選考委員会、総務委員会、研修委員会、事業委員会をおくことができる。

- 2 表彰者選考委員会は、各種表彰の選考をおこなう。この会の委員は会長が委嘱し、副会長及び理事長とする。

このほか、会長が必要と認める場合には、若干名の委員を委嘱することができる。

- 3 総務委員会は、本会のPR活動（会報の発行、HP作成等）、各種団体との連絡調整、「みんなのスポーツ」「手帳」の購読・購買推進等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事長、理事4名、女性委員4名とする。
- 4 研修委員会は、研究大会・新任研修会・女性研修会の企画立案・運営をおこなう。この会の委員は、副会長3名、理事5名、女性委員6名とする。
- 5 事業委員会は、ニュースポーツの普及、地域スポーツ事業の推進、総合型地域スポーツクラブとの連携等をおこなう。この会の委員は、副会長2名、理事6名、女性委員6名とする。

第10章 会 計

第19条 本会の経費は、市町村負担金、スポーツ推進委員の会費、補助金、寄附金及び事業収入、その他をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は毎年4月1日にはじまり翌年3月31日に終る。

第11章 会長専決事項

第21条 本会の歳出に予算更生が必要になった場合及び緊急を要する事項が生じた折は、会長がこれを専決処理することができる。

ただし、専決処理事項については、理事会に報告し承認を得なければならない。

第12章 補 則

第22条 本会に次の帳簿をおく。

会計簿、議事簿、その他必要な帳簿

第23条 本会に必要な細則は別に定めることができる。

附 則

この規約は昭和33年5月16日から施行する。

(略)

一部改正

昭和36年2月22日	昭和47年6月21日	平成9年5月13日	平成24年5月8日
昭和37年7月3日	昭和48年6月19日	平成15年5月14日	平成29年5月16日
昭和41年6月1日	昭和57年4月16日	平成16年5月12日	
昭和46年5月25日	平成4年5月8日	平成20年5月13日	

福島県スポーツ推進委員協議会表彰規程

第1条 本協議会が表彰を行う場合は、この規程の定めるところによる。

第2条 この表彰はつぎの各号の1に該当するものに対し、表彰状を授与して行うものとする。

- 1 長年にわたり、本協議会の運営に功績のあったもの。
- 2 長年にわたり、スポーツ推進委員又は、体育指導委員等として、その属する地域において、体育・スポーツ振興のため功績のあったもの。
- 3 前各号のほか、本協議会の事業等に特段の功績のあったもの。

第3条 地区スポーツ推進委員協議会の代表者は、前条に該当すると認められるものがあるときは被表彰者の推薦書を作成し、毎年福島県スポーツ推進委員研究大会1か月前までに 会長あて提出するものとする。

第4条 会長は、前条により推薦された被表彰者につき、選考委員会にはかり、被表彰者を決定する。

- 1 選考委員会委員は会長が委嘱する。

第5条 被表彰者に対しては、毎年福島県スポーツ推進委員研究大会の際に会長が、表彰状を授与して表彰する。

第6条 本協議会役員として、3期（6年）以上務め退任する場合は理事会の承認を得て、感謝状並びに記念品を贈呈する。

附 則

- 1 この規程は、昭和47年6月21日より施行する。
- 2 昭和48年6月19日 一部改正
- 3 平成7年5月10日 一部改正
- 4 平成24年5月8日 一部改正

福島県スポーツ推進委員協議会表彰に関する申し合わせ事項

- (1) 10年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が本協議会へ推薦する。
- (2) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (3) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。

東北地区スポーツ推進委員協議会表彰規程

第1条 この規程は、本会規約第4条第5項に規定する表彰に関し必要な事項を定める。

第2条 スポーツ推進委員に在任中で、その期間が15年を経過し、かつ年齢45歳に達した者のうち、次の各号のいずれかに該当する者を表彰する。ただし、全国連合の普通会员であり、「スポーツ推進委員手帳」、「みんなのスポーツ」のいずれかを、購入または購読していることを条件とする。

- (1) 多年にわたり、本協議会の発展に功績のあった者
- (2) 多年にわたり、地域の社会体育振興に功績のあった者
- (3) 前各号の他、本協議会の事業に顕著な実績のあった者

第3条 各県協議会は、前条に該当する者について、別表第1の推薦人数の範囲で被表彰者推薦名簿を作成し、毎年5月30日まで会長に提出するものとする。

第4条 会長は、前条により推薦された候補者について審査し、決定する。

第5条 表彰は、東北地区スポーツ推進委員研修会の開会式時に行う。

第6条 表彰者の功を顕彰するため表彰者名簿に登載し保存する。

附 則

この規程は、昭和56年4月1日より施行する。

昭和61年6月20日一部改正

平成4年7月17日一部改正

平成9年7月11日一部改正

平成11年11月10日一部改正

平成22年7月9日一部改正

平成23年10月6日一部改正(スポーツ基本法施行による)

平成25年7月11日一部改正

平成27年7月9日一部改正

東北地区スポーツ推進委員協議会表彰に関する福島県の申し合わせ事項

- (1) 15年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が本協議会に推薦する。
- (2) スポーツ推進委員活動年数、年齢、県・支部等役職などを考慮する。
- (3) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (4) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。
- (5) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」、または本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」のいずれかをすでに個人で購読・購入していることとする。また、表彰年度も継続して購読・購入していることとする。
- (6) 各支部からの推薦は3名以内とする。
- (7) 推薦調書には以前の実績についても記入する。
- (8) 福島県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けていること。

全国スポーツ推進委員連合表彰に関する福島県の申し合わせ事項

最終改正 平成30年2月24日

- (1) 20年以上にわたりスポーツ推進委員として社会体育振興に精励した者を、各支部スポーツ推進委員協議会の代表が、各支部1名本協議会へ推薦する。
- (2) 県の役員としての貢献度を重視し、活動年数・範囲・年齢・各地区での役職、方部等を考慮する。
- (3) 東北地区スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けた者で、5年以上経過していること。
- (4) スポーツ推進委員の自己研鑽の一環として、本連合機関誌「みんなのスポーツ」及び本連合発行の「スポーツ推進委員手帳」をすでに個人で購読・購入していることとする。また、表彰年度も継続して購読・購入していることとする。
- (5) スポーツ推進委員功労者推薦書には、必ず表彰候補者の選考にあたった選考委員名を記載したものを添付する。
- (6) 表彰候補者の選考にあたり、各支部スポーツ推進委員協議会の代表者は選考委員会を設置して公正な選考がなされるようにする。
- (7) 優良団体の推薦については、県研究大会を開催した市を推薦していく。その後は「公益社団法人スポーツ推進委員連合優良団体表彰要項」にある選考基準に基づき、1団体を選考し推薦する。

福　　ス　　ポ　　第 47 号

令和 6 年 3 月 1 日発行

発　行　所　〒960-8670　福島市杉妻町 2 - 16
福島県文化スポーツ局スポーツ課内
福島県スポーツ推進委員協議会
T E L （024） 521 - 7995

編　集　人　松　田　　義

発　行　人
印　刷　所　(株) 山 川 印 刷 所
福島市庄野字清水尻 1 - 10
T E L （024） 593 - 2221

表紙写真／令和 5 年度福島県スポーツ推進委員研究大会
喜多方市　日中線しだれ桜並木

